

装着前に本説明書を必ず読み、作業を開始してください

74 SPRINGER FORKS for XL

組付け前準備

- スプリングガーフォーク本体ヘネックベアリングを組み付ける（ベアリングは別途ご用意下さい）
- ハンドルストッパーのボルトを増し締めする
※この段階でトップティにハンドルポストを仮組みしておく方が楽ですが、ステムナットの締め付け工具がメガネレンチのみなどの場合は、工具が入り難くなるので片方だけ仮組みして下さい。

スプリングガーフォークの車体への組み付け

- フォーク本体をネック下から差し込む
- ステムベアリングをステムシャフト嵌める。
※プラスチックハンマーなどでコンコンと真っ直ぐに嵌めて下さい。（入り口が入ればスッと入ります。）
- ゴムシールを嵌める。
※この際フォーク本体が重量がありますので、別の作業者がフォークを保持しておいて下さい。
- トップティを嵌める
- ステムナットをサービスマニュアルに準じたトルクで締め付けた後、
ステムシャフトクランプボルト（3/8）、左右フォークのボルト（1/4）の計5箇所を締め付ける
※左右の4箇所（片側2箇所）は均等に何度も分けて締め付けて下さい。
※ライザーが片方のみの仮組みの場合はこの段階でライザーをもう片方も付ける
- ハンドルをライザーに組み付け、その後ライザー固定ボルトを締め付けて下さい。

ホイールの組み付け

- トルクロッドのスプリング一本側を先に組み付けて下さい。
この時16インチのXL1200Xは内側から六角ボルトを先に通しておいて下さい。本締めは後からでも可能です。
- 図の様にホイールとホイールカラー、キャリパーサポートを組み付けて下さい
- ABSユニットにはシャフト変換カラー（長）を中心に通して下さい。
この時フォーク作動時にユニットが干渉しない角度で取り付けて下さい
- 稼動部にはグリスを塗布、ボルトはネジロックを塗布して下さい。
- キャリパーサポートにブレンボキャリパーを取り付け、ホースフィッティング、エア抜きを行って下さい。
キャリパーサポートの固定ボルトは要ネジロックになります。
- 全てのグリスニップルにグリスガンにてグリスを注入してください、また可動部にはグリスを塗布し、ボルトにはネジロックを塗布して下さい。
- ホイールとフォークの間に隙間が出来る場合、付属のシム（黒）を両端どちらかに挟み込み調整して下さい

